

令和2年9月15日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第11回 (9/15号)

水稻病虫害発生予察の結果について

警報：今回の病虫害発生予察においてもトビイロウンカ（秋ウンカ）と思われる害虫が各地区で見られました。管内では、坪枯れ症状の被害が各地区で増えています。引き続き、自身や周辺の圃場に注意し、早期防除を心掛けてください。

①生育状況

平坦地の生育は前年と同程度で、韮山地区は糊熟期～黄熟期（柔らかかった籾が固くなり始めた頃）、長岡・大仁地区では黄熟期～完熟期（固くなった籾が収穫に向けて色づく頃）になっております。山間地では収穫期を迎えており、稲刈りをしている圃場も見られました。

②病虫害状況

先週に引き続き、管内どの地区でも秋ウンカによる坪枯れ症状が確認されましたが、薬剤防除等の対処により坪枯れ症状が治まった圃場、坪枯れが拡大している圃場のよう、地区ではなく、圃場毎で秋ウンカの発生量が大きく異なっていました。既に防除を行った方も、今一度、自身の圃場を確認頂き、必要に応じて追加の薬剤散布等の対処を検討して下さい。

秋ウンカの世代交代は20～30日、現在見えていなくても収穫時期までに坪枯れが発生する可能性があります。油断せずに防除の継続をお願いします。

◎現在までに防除をしていない方は早急に薬剤防除を検討して下さい。
すでに防除を行っている方は、再度自身の圃場のウンカ発生状況を確認して下さい。

③資材紹介

○トレボン粉剤DL

薬量：3～4kg/10a 使用回数：3回

摘用：ウンカ類、カメムシ類、コブノメイガ、ヨコバイ類 等

備考：株元にかかるように散布。

※除草剤に限らず水田に薬剤散布をする場合は、7日間は落水をしないで下さい。

問い合わせ：韮山営農センター 西島・田中 055-949-0055